

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区芝 2-1-27 穴水ビル 2 階
園名	ニチイキッズ芝公園保育園

1 活動のテーマ

<テーマ>

音と表現 3.4.5 歳児

<テーマの設定理由>

「音」は普段意識しないと気付かない音、日常に溢れている音、いろいろな「音」があります。今回はいろいろな身近な「音」を通して聴覚を研ぎ澄ませることと、その「音」をダンスで表現する楽しさを味わうことを目的に本テーマを設定します。

2 活動スケジュール

12/20

材料を集めていろいろな「音」を見つける

友だちと音あてクイズを楽しむ

「音」を体で表現してみる

体の「音」をきいてみる

生活の中にある身近なものに音があることに気づく

1/7

事前に集めた材料をつかって、いろいろな「音」を知る

友だちと一緒に音あてクイズを楽しむ

「音」を体で表現してみる

身体の「音」をきいてみる

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

アンプ、マイク、カメラ、楽器（鈴、タンバリン、トライアングル、カスタネット、ピアノ、マラカス）、家庭から持ってきたもの・身近なもの（輪ゴム、空き缶、箱、石、カプセルトイケース、枝、ペットボトル、カップ、砂、彼は、割りばし、ストロー、風船など）、机、収納ケース、パーテーション

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・身近にどのような音があるか「音」をテーマにして話し合う
- ・戸外に音のなるものを探しにでかける
- ・子どもたち同士で振り返りを行い、次はどのようなことがしたいか、気づいたことを話し合う
- ・持ち帰って集めた「音」を個々に紹介し合う
- ・前回の活動で集まった音のなる材料を全員で確認する
- ・音あてクイズをする
- ・「音」を違う楽器やもので表現してみる
- ・音のなるものを使って体で表現してみる
- ・子どもたち自身で今日の出来事を保護者に伝える

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちは身の回りのものに耳をあてて音を聴き出そうとしたり、音をききとるために喋ることをやめて、耳を澄ます姿がみられた。

12月に家庭から持参した“音のなるもの”や、保育園にある楽器を使って音をあてるクイズをすると友だちと一緒に楽しんで参加していた。以前ふれあいアートという活動での経験の影響が大きく、各素材をつかって音に合わせてダンスしてみたり、体を動かして表現することの楽しさを感じることができていた。

活動の振り返りではほとんどの子どもが「ギロをならすことがたのしかった」と発言していた。

5 振り返り



<振り返りによって得た先生の気づき>

「音」をテーマに声掛けするだけでこんなにも過ごし方に対する意識が変わるのかと気づかされた。全員で一人ずつ感じた音について発表をして、乗り物や機会、自然や生き物の「音」を聞き取っていて感性が豊かだと感じた。